

あかしん

わが町、わが店、この道一筋。出逢いとコミュニケーション あかい新聞店ホームページ <http://www.akai-shinbunten.net> <発行所>あかい新聞店 武豊店/知多郡武豊町字金下37番地 ☎<0569>72-0356 常滑店/常滑市市場町4丁目167番地 ☎<0569>35-2861

クロスメディアを総合力でプロデュースする

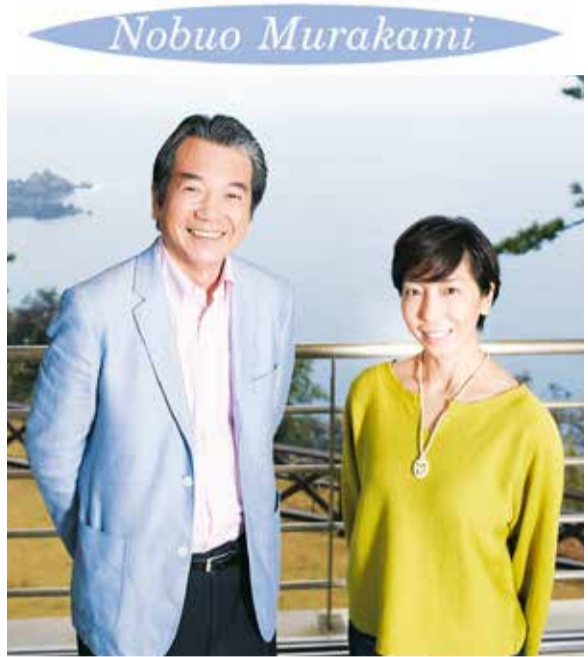
PTC GROUP

半田中央印刷株式会社

〒475-0032 愛知県半田市潮干町1番地の21
TEL 0569-29-2525 (代) FAX 0569-29-4500
<http://www.handa-cp.co.jp>

元氣のでてくる「ことばたち」

(210)



撮影・鶴崎燃

村上信夫

う競技もある。練習すると誰でも1分以上、最高7分くらい息を止められるようになるという。生物はもともと海から生まれたという遠い記憶を思い出させてくれるスポーツでもある。

かわからない。「ニュースで見ないような事件がある日突然、自分にも降りかかることがあるんだ」と思いました。

その翌年には大きな卵巣腫瘍が見つかって手術をした。良性だったが、取り出したら5キロもあって、破裂寸前だったそうだ。破裂していたら即死だった。

思った。そして、すぐさま小笠原に飛んでいった。通ううちに、少しずつ潜れるようになってきた。偶然にもフリーダイビングの日本代表選手と飛行機で隣の席になり、その魅力を知り、真鶴で活動しているサークルを紹介してもらった。ダイビングへの道は、自然に開かれていった。

我らはでくなり

ダイビングを始めて、変わった。

「昔は目の前の小さなことに振り回されて、舞い上がった落ち込んだりしていました。以前はもの見方が変わってきたと思います。以前は人から嫌なことをいわれるとイラッとしていたのに、いまは客観的に自分を見ているもう一人の自分がいる。あれ？ 私はいまイラッとした。なんでイラッとしたんだらうと。あれこれ考えているうちに、気持ちが落ち着いてきます。緊張したり感情が高ぶったりすると、酸素の消費量が多くなるというから、平常心が求められる。

「言葉で自分を作っていく。言葉で自分を引っぱり上げていく。潜るときは集中して進むんですが、帰りは疲労がたまると体が動かなくなります。しかも浮力より沈んでいく重力のほうが大きいので、強くキックしなければならぬ水深60メートルくらいで一度体の限界がやってくるので、誰もいないところで体も心も折れそうになります。そういうときに、自分に言葉をかけて気合いを入れると体が動きます。『みんなに会いたい！会いに行くから待って！』と。極限状態になると、いろんな人の顔が浮かんでくるんですよ。」



俳画/イネ・セイミ

海の中にいると、いろんなことに敏感にな

インディアンフルート教室

開講して10年

誰でも簡単に音が出せる楽器です。あなたも今日からインディアンフルートに挑戦してみませんか？

受講生募集!!

会場 マツイン楽器店 ミュージックガーデン武豊 隔週木曜日(月2回) 10:00~11:00

形態 グループ

会費 1ヶ月8,802円(入会金15,400円)

詳しくはマツイン楽器店本社 教室係までフリーダイヤル:0120-37-5576

講師 **イネ・セイミ**
(日本インディアンフルートサークル協会ディレクター) ネイティブアメリカンのスピリットが感じられるインディアンフルート。その音色はやさしく心に響きます。1レッスン30分4,000円 会場:半田市潮干町

申込みお問合せ 0569-89-7127 ine.seimi.jp@gmail.com

イネ・セイミプロフィール

フルート奏者として活躍中。俳画家。

絵画を幼少より日展画家の(故)川村行雄氏に師事。俳画を華道彩生会家元(故)村松一平氏に師事。俳画の描法をもとに、少女、猫等を独自のやさしいタッチで描いている。個展多数。

俳画教室開講中

ところ 常滑屋

とき 俳画教室月二回 午後一時三十分~三時三十分

会費 一回 一〇二五〇円(三ヶ月分納制)

問合せ ☎〇五六九(三五)〇四七〇

好評発売中

人は、ことばで磨かれる

対談!

自分が闘う相手

世界でも指折りのフリーダイバー岡本美鈴さんは、去年、世界選手権で92メートルをマークし、見事優勝した。

1973年、東京都生まれ。30歳でフリーダイビングを始め、3年後の2006年には61メートルの日本記録を樹立。去年記録した92メートルは、世界歴代3位。世界選手権では金メダル3個(個人1、団体2)を含む計7個のメダルを獲得している。海の環境を守る活動にも積極的に取り組んでいる。

対談は、神奈川県真鶴町で行った。フリーダイビングを始めて以来、岡本さんは、ほとんど真鶴で潜ってきた。真鶴は岸の近くに水深一〇〇メートルの深い場所があり、ダイビングの聖地ともいわれている。

岡本さんは人と競争するのが得意ではなかった。中学時代は卓球部だったが、自分を倒そうとしている相手の気配に耐えられなくて、気持ち負けしていた。その点、フリーダイビングは闘う対象が自分なので、心技体を鍛えていくと自分の進歩が数字になって現れてくる。それがすごく面白かった。

フリーダイビングは、いわゆる素潜り。呼吸を止めて潜水の深さを競う。水面にうつぶせになって浮いて、何分息を止められるかとい

全身の筋肉を弛緩させ、目を閉じて浮いているだけで、皮膚と水、水と空気、空気と宇宙の境目もなくなって、自然や宇宙と一体になった感覚がある。「潜ると、空を自由にはばたく鳥になったような気分です」。

命に関わる出来事

僕は1995年の3月20日、NHKのニューススタジオで地下鉄サリン事件の第一報を伝えた。詳しい情報がなかなか入らず、緊張して胃が痛くなったことを覚えている。そのとき岡本さんは、当時勤めていた会社への通勤途上、あの地下鉄に乗っていて被害に遭った。築地駅で地下鉄が止まり、降りたホームでサリンを吸ってしまった。

あの日はたまたま先頭車両に乗っていて、駅の出口に近かったので早く外に出られたことが幸いした。サリンがまかれた後部車両に、いつもと同じように乗っていたら、どうなっていた

2年続けて、命に関わる経験をして人生観も変わった。

「それまでは当たり前前に明日が来る、来年があると思っていましたが、命には限りがあり、それが今日かもしれないと考えるようになりました。だからやりたいことは、すぐ実行しよう」と。

そんな思いにかられていた矢先、ダイビングと出合った。小笠原の海でイルカと一緒に泳ぐ人のテレビ番組を見て、イルカと泳ぎたいと

「言葉で自分を作っていく。言葉で自分を引っぱり上げていく。潜るときは集中して進むんですが、帰りは疲労がたまると体が動かなくなります。しかも浮力より沈んでいく重力のほうが大きいので、強くキックしなければならぬ水深60メートルくらいで一度体の限界がやってくるので、誰もいないところで体も心も折れそうになります。そういうときに、自分に言葉をかけて気合いを入れると体が動きます。『みんなに会いたい！会いに行くから待って！』と。極限状態になると、いろんな人の顔が浮かんでくるんですよ。」

視界のかすかな変化、身体の中の音の聞こえ方、心境の変化…かすかな兆候も見逃さなくなる。そして潜水から浮上した時、呼吸出来る」というシンプルな喜びが湧く。

明日がなかったかもしれない経験をしたからこそ実感なのだろう。「ギリギリの状態になるので、一度極限のところまで行って帰ってくる、生きていることのありがたさがわかり、周りの人の大切さにも気づかれます」。

対談場所から程近いところに、画家の中川一政美術館があった。岡本さんと一緒に見学に行った。中川の「われはでくなり つかわれて踊るなり」の言葉に、2人して釘づけになった。こういう境地になれば、生きるのが楽になる。抗うことなく、大なるものに身を委ねてみると、世の中の風景が変わって見える。

岡本さんは、海に身を委ね、素潜りの記録を伸ばしながら、地球環境保全に奔走している。ボクも、言葉に身を委ねながら、諍いが減るよう小さな積み重ねをしている。2人とも、使命感にかられている。だから「でくなりすね」と笑い合った。

田村孟さんをめぐる (7) 杉本武之

(1) 篠島ロケの思い出

山口瞳のことをあれこれ書いてしまい、本題の田村孟さんとの篠島のロケの話から大きく外れ、とんだ道草を食ってしまいました。

これからは、脇道にそれることなく、篠島でのロケの思い出を書いていきます。

一番の思い出は、田村さんが島の旅館でマージャンのやり方を教えてくれたことです。

内藤さんも私も、学生時代、マージャンをしていませんでした。篠島での撮影は、のんびりしたもので、時間的にもゆとりがありました。田村さんとAさんとBさんの3人はマージャンが好きでした。よく3人でテーブルを囲んでいました。

しかし、4人でやる方が面白いらしく、何も知

らない内藤さんか私のどちらかを選んで、イロハから教えることになりました。これといった仕事の無い私の方が、時間的にも精神的にも余裕がありましたので、田村さんは、私に遊び方を教えることに決めました。

私を前に座らせて、田村さんは、シナリオ用の原稿用紙に濃い鉛筆でマージャンのルールの基本を書きながら、ゆつくり丁寧に説明してくれました。私は、彼の努力に応えたいと思い、何とでもマージャンのやり方を覚えようと努力しました。

島を引き上げる頃には、何んとか相手の3人に迷惑を掛けずに参加できるようにになりました。

あの時にルールを書いたのもうたった何枚かの原稿用紙は、私の宝物として大切に家に持って帰った



ジュディ・オング(13歳)

『鳥からの眺め』の脚本も一緒に出てくれば良いなあと思っています。

田村さんは風呂が好きでした。旅館の風呂場は、同時に二人ぐらいいしか入れな

も聞いてみました。いわゆる古典ではなくて、明治以降の近代文学を卒論のテーマに選んだ、と話してくれました。

私が石鹸でこしこし体を洗っているのを見て

消えにきました。田村さんが笑いながら言いました。

田村さんが笑っているのを見て、私は、理科の教科書なんです」と答えました。

この指とまれ (241) 氏原朝信

弁当作り

I・N女の母 給食のセンターの都合で四日間弁当持ちとのこと。幼稚園に通う長男だけのこと。思い、「まあ、何とかやるわ。幼稚園は朝がゆつくりだから」と思っていた矢先学校も弁当持ちと聞き、いささかがつくり、朝寝坊の私には大変なことです。でも、愛する我が子のため、目覚まし時計を?時に合わせ、弁当作りは挑戦です。何を作ろうかと子どもと相談し迷った末、初日は、ウインナーと卵焼きと決まり、ちよつとでも美味しく

見せようとタココやカニの形に気を配り、配色よく詰めました。「おにぎりは自分で作りました。結構うまく作るのには驚きました。五年生のいここに習ったことでした。」

明日は二日目、エビフライ、サラダ、ご飯の上には卵とカニのおぼろを振りかける。子どもたちが美味しそうに食べる顔を想像しながらの弁当作りは楽しいものになりました。

子どもが学校から帰ってくるのを待ち兼ねて「お帰り、今日の弁当、どうだったか」と真つ先に聞き、「おいしかった、全部食べちゃった」の返事でうれしくなり、「よし明日も作るぞ」とフアイトがわきました。私つて単純なかしら。

三年の終わりに H・A女の母 「行ってきます」「ただいま」と送り出し、迎えて一年間が過ぎようとしています。三年生になってからの月日がとても早く感じたように思われるのは、親子も学校生活の馴れがあつたのでしょいか。親として忙しさに怠けていて、反省が先立ってしまいます。

今まで自己中心で物事を考えることが多かったのに最近の学校での出来事を話す言葉の端々に、友達やグループのことが考えられるようになってきました。これからは自分だけ良ければという考えではなく、皆ができたことを喜べる子に育ててほしいと願っています。

困難なこと、苦しいことが克服し、進んでいく力を養っていくことこそ、これから親としての課題としたものです。



だつたと思えます。

私がお風呂でこしこし体を洗っているのを見て

田村さんが笑っているのを見て、私は、理科の教科書なんです」と答えました。

田村さんが笑っているのを見て、私は、理科の教科書なんです」と答えました。

田村さんが笑っているのを見て、私は、理科の教科書なんです」と答えました。

田村さんが笑っているのを見て、私は、理科の教科書なんです」と答えました。

料理研究家 長澤晶子のSPEED★COOKING!

簡単! 赤しやえびのかき揚げ

春です! 殻ごと丸ごと食べられる小さいサイズのえびを見つけると、これを作りたくなっちゃうのです!

(4人分)

- 赤しやえび(小さいもの)…30匹ほど (水洗いし、ひげ、つゆ(頭の先)尾のとが(いる所を切り落とし、水気をペーパーでとる)
- 白ねぎ…1本…根を切り4~5cmの斜め切り
- 水 菜 …ひとにぎり程 …根を切り4~5cmのざく切り

【天ぷら衣】

- 薄力粉…1カップ
- ベーキングパウダー…ティースプーン1/2
- ①薄力粉とベーキングパウダーをボールに入れ菜ばして混ぜる。
- 冷 水…1/2カップ
- ②冷水を一気に加え菜ばしてつづく様に混ぜ合わせていく。
- 冷 水…1/2カップ
- ③冷水を粉つばい所に少しずつ入れ、菜ばしてつづく様に混ぜ合わせていく。混ぜすぎない様に注意! 粉つばい状態でOK

【作り方】

- 深目の鍋に油を入れ160~170℃にする。
- お玉に白ねぎ、水菜を乗せえびも3匹ほど乗せて、その中に天ぷら衣をたらす。菜ばして衣がからまる様である。
- ①の中にお玉ごと②に入れ、お玉から②を菜ばしてはずす。バラバラにならない様、鍋ぶちに寄せながら、外周りが固まったら、中央を菜ばしてつづく。(小さな穴をあける様につづく中央もパリッと仕上がります)
- ③がぶくくと浮きあがったら裏返し、色が少しついたら油から引き上げる。
- 塩・ほん酢など用意していただきます。天つゆを用意してかき揚げ丼にしても美味しいです。

5220

- ◎常滑市民文化会館
- ▼スタインウェイひとりじめコンサート(二十三日(日)午前十時~午後八時 関係者のみ) 問合せ:常滑市民文化会館
- ◎とこなめ陶の森資料館
- ◎企画展「常滑の超絶技巧」(五月八日(日))
- ◎常滑市立図書館
- ▼らくがき会展(水彩画) 十四日(木)~二十三日(日) 問合せ:常滑市立図書館
- ◎交友会とその友人展(焼き物写真展、墨絵、俳句等) 二十四日(木)~五月五日(木) 問合せ:常滑市立図書館
- ◎常滑市体育館
- ▼卓球個人強化リーグ(九日(日)尾東地区卓球普及団体リーグ(十日(日)))
- ▼全知多スプリングカップ9人制バレーボール大会(二十四日(日))
- ▼第70回愛知県高校総体バスケットボール競技知多支部予選会(二十九日(金)祝)
- ◎青海公民館
- ▼やぎセンター長誕生日会開催(十日(日) 午前十時~正午 ※雨天は中止になります) 場所:青海公民館野分ステーション 内容:センター長の1歳の誕生日を祝おう。やぎとのふれあいをテーマにしたお絵かきクイズ等のイベントも行います。対象者:全年齢 参加費:無料 問合せ:青海公民館 ☎4316622
- ◎知多市子ども未来館
- ▼キッズルーム第一期 申込み(一日(金)~十日(日)同館へ) 五日(日) 五日(日)~七月十二日の火曜日(全十回)コース 午前十時~午後一時 内容:「ふれあい遊び」リズムに合わせて親子で身体を動かそう。対象:おむね二歳~(就園前の子)とその親子(二人一組) 講師:青木アツ子さん(親子ふれあい体験) 定員:二十八組(申し込み多数の場合は抽選・託児あり) 参加費:親子一組(三六〇円) 二分(託児希望の方は別) 一人二五〇円
- ▼キッズルーム2「親子スキップ」日程:五月十二日~

七月十四日(木)の火曜日・全十回コース 午前十時~午後一時 内容:「親子でアイデア体創」身体を使った楽しい遊び。対象:おむね二歳~(就園前の子)とその親子(二人一組) 講師:井筒京子さん(けんこうの輪舞の木所所属) 定員:二十八組(申し込み多数の場合は抽選・託児あり) 参加費:親子一組(三六〇円) 二分(託児希望の方は別) 一人二五〇円

誠意をこめて安心のお手伝い 年中無休・24時間体制

(有)大阪屋葬祭

常滑ホール 鬼崎ホール 阿久比ホール

TEL<0569>35-4949 (代表)

FAX 35-4911

知多の新鮮たまご 発酵ケイフン

(有)知多エッグ

知多郡武豊二ツ峯380 TEL0569-73-6341

新シリーズ ヒューマンライフ

『新・現代家庭考』 就職

—自分ドラマつくろう— (60) 岡田 清治

嫁の就職2

舞はふと母親の顔を思い浮かべたように見えたが、それ以上多くは語らなかつた。その理由はわからない。が、子どもなら手記には嫌と思う文面もあつたに違いないと真三は舞の気持ちを思ひはかつた。ただ、それとは別に舞の父親は社会部の記者だつたから本当のこと、真実を書き遺したかつたという思いが強いから残された家族への配慮が薄れると、真三には思われた。

父親の遺した手記は大手出版社から自費出版したものだ。もし、家族にだけに遺したいなら出版などはしないものだ。ということはこの手記は他人、つまりは多く売ってほしいという思いがある。もつと言えば、高齡パパのしんどさ、難しさを訴えているのだらうと想像した。出版の相談を受けた真三は原稿に目を通して、「健太郎ならこれまでの実績や付き合いからいくらでも出版の相談にのってくれる知人は多いのではないかと」と、苦手な相談内容に反論をにじませた。

「確かにそうで、いくつか出版社にもあつたが、断られた」
「なぜ、断られたと思う？」
「……」

しばらく黙っていたが、
「要は売れないと判断したのだらう」
「そうだらうな。だけど内容が面白いというか、興味を覚えたならリスクを冒しても刊行するのではないか」
「真三兄は読書好きだから、この原稿が本になつたら買うか」

弟の健太郎は真三の意見次第で決断する様子もうかがえた。ここは本当の気持ちを伝えることがいだらうと、率直な意見を述べた。
「だいたい、パパなんていうのは新婚ほやほやの、若い夫婦がいらないが、初老の男が使う呼称としては似合っていない。おそらくまだ幼児の娘に遺したい思いから、そういう言い方になつたのではないかと、思つたが……」

もしそうだとするならば、お前は初老の身分で若い嫁さんめとつていい御身分だと他人は思うだらうな。いくら女房に代わつて育児をしたとか、慣れないことが多いからといって、「大変だ大変だ」といつても誰も感動しない。育児を男の目線で見ると、知らないこと、興味を覚えることが書かれているとしても、どれほどの読者がいるのだらうか。初老の男性向けに書いているのだらうか、「よくやるな」と思われても、それをノウハウ本とは受け取らないのではないか。
健太郎は黙つて兄から聞きかきびしい声に耳を傾けていた。

真三はそこまで言つたのだから提案すべきではないかと、ひと呼吸おいてゆつくり思いつくまに話していった。

元新聞記者の肩書きなら、誰もが知らない社内外の確執、事件を自分が働いている環境、社会的な位置づけの中で、高齡化社会の矛盾、また自分が取り組んだ、いまだで書けなかつた取材内容を伝えるなら、ある意味で出版人も興味をもつのではないか。つまり執筆者があらゆる束縛からとかれて、どこまで裸になれるかだと思つた。

だから物書きはある意味、命がけになるのだらう。赤裸々に描くことによつて家庭は崩壊する危険はある。また会社も迷惑を感じたら予防線を張るだらう。下手したら名誉棄損で訴えられるかもしれない。そこまでリスクを冒して書き遺す意義があるのか、どうかだよ。いくら新聞記者といつても長年、禄を得てきたのだから、そう簡単に裏切れないはずだ。裏切らないまでも、



写真：渥美半島(著者撮影)

※この物語に対する読者の方々のコメント、体験談を左記のFAXかメールでお寄せください。
今回は「就職」「日本のゆくえ」「結婚」「夫婦」「インド」「愛知県」についてです。物語が進行する中で織り込むことを試み、一緒に考えます。
FAX: 0569-347971
メール: takamitsu@akai-shinbun.net



プロフィール

著者・岡田清治おかせいじ
一九四二年生まれ ジャーナリスト
(編集)ロダクシオンNET108代表
著書に『高野山開創二百年いっばんさん行状記』『心の遺言』『あなた社員は全能力を引き出せますか！』『リヨンで見た虹』など多数

本筋のことが書けるかという問題があるはずだ。

「このような内容の本はないと思うのだが……」
「だいたい、お前が離婚したことについて何も触れていない。俺なんかはいまだに、どうして別れたのか理解できない。当時はなんとか相手を説得して懸命に引きとめようとしたが、結局、無駄骨だった」
「……」

「読者は初老の育児奮闘ぶりより、中高年サラリーマンが離婚を決定する心の葛藤の方によほど興味がかかると思うよ。最後の章で書いている特別養護老人ホームの取材には、さすがだと思つた。こうした社会問題に鋭く切り込んでいってこそ、お前らしいものになるのではないか」

手記を読む

新聞記者時代、特別養護老人ホームを訪ねたことがある。お年寄りが入所する際にホームに預けた預貯金通帳を職員が持ち出し、勝手に引き出して使つていくとある。お年寄りの孫と偽り、面会人を装つてホームにもぐり込んだ。入つて驚いた。外観とはうらはらに、狭い部屋に大勢のお年寄りが詰め込まれるようにして寝ていた。縛られている人も少なくないようだ。

顔なじみになつたお年寄りや雑談をしていくと、おばあさんが顔を曇らせた。どうしたものかと不安になつたが、話を聞いてこちらも悲しくなつた。

このホームでは月に一回、バスで買物に出かけるといふ。お年寄りの何よりの楽しみで、買うものをあれこれ考えるだけでわくわくするらしい。しかし、寝小僧をしたりすると、罰として買物に参加させない決まりとか。そのおばあさんは先日、おしっこを漏らし、職員から×印をつけられたのだ。

「私、行けませんね……」
泣きそうになつて顔を、私は見ておれなくなつた。景色が良くても辺りな場所だけに、身内が訪ねてくることも少ない。預けつ放しにされているお年寄りの多いらしく、それが使い込みの背景になつていふと思われた。

老人ホームの取材を終えたあと、私はお年寄りを預けている家庭を訪ね歩いた。そこでもまた驚かされた。大学教授や病院長など地位も名誉もある人が、「うちは預けていない」とかたくなに言い張るのだ。どうやら親を老人ホームへ放り出したと思われたいくないらしいのだと推察し、それ以上深入りはしなかつた。

かなりましな老人ホームと言われているけど、こんなあり様だ。私は老いの悲惨な実態を垣間見て暗たんとした気分になつた。介護保険制度がスタートしたりして老人

問題に社会の関心は高まつたものの、お年寄りに一人の人間として接する環境は、まだしっかりと育つていないように思える。

手記のホーム取材はそこで終わつている。
老人ホームの不祥事はいままたえず報道されている。なぜ、不祥事が起きるのか、その背景はあまり報じられない。多くの視点は老人という弱い立場からである。

施設は事業として運営しているのだから、当然コスト計算が働く。建物の建設維持費、光熱費、食事の材料費、人件費、利益等の項目は真三が経営していたファミレスと同じだ。ただ違うのはファミレスは食事の提供だが、ホームはサービスの提供、それも多種多様な人生を経験してきた人間が相手である。ファミレスとホームの従業員も意識、技量、資格の有無など、まるで違う。

ホームの介護士の仕事の方がはるかに大変である。当然、待遇も良くなつていふと思われているが、仕事内容に見合ったレベルの賃金が支払われていないのが実情である。

医療の世界も闇に覆われている。手術や投薬のミスは数え切れないし、患者や家族の負担は重くなる一方だ。何よりも怖いのは、自分がどうされるのか、何が起きていくのかさっぱり分からないことである。弱い立場の患者の人権などなきに等しい現実も重なり、入院や手術と聞くと、震え上がつてしまふと健太郎は病魔に襲われているのか、入院の怖さにも触れていた。

真三はこの手記を読み返しながら、健太郎が入院してから植物人間になつた過程を裕子と医師の説明を聞きながら理解に努めたことを思い出した。思えば、健太郎の最後は本意であつたに違いない。おそらく植物人間になるとわかつた瞬間にすべてを終わらせたいと思つたに違いない。だが、それは本人の意思とは別な力学が働く。

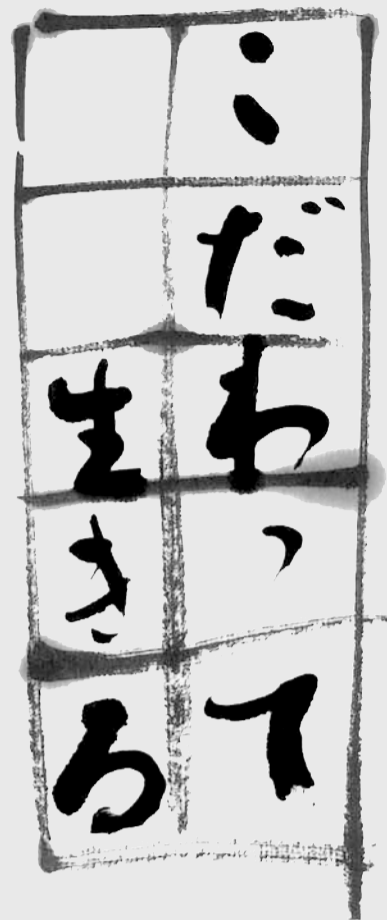
医師は終焉だと思つても、遺族の同意がなければ医療活動を止められない。中止すれば殺人罪に問われることもある。だから最後は裕子と舞の判断に委ねられることになつた。もう理屈ではない。感情の世界に入り込んでしまつた。結論は「医療を続けてほしい」ということだつた。

真三はある時、友人に誘われてその頃全国的に珍しい障害者の施設を他県に見学に出かけたことがある。その施設は丘陵地に建てられていた。

「障害者の方々や家族の一員として生活を共にしてきます。それは同じ箸で同じものを食べ、同じ風呂に入り生活を共有してあり、彼らを『家族』と呼んでまいりました」と、創業者のK氏は真三らに話しかけた。

設立認可で役所に出向くと「Kさん、障害者施設の計画はいいですが、周辺住民の了解はえられますか」と担当者から疑問を投げかけられた。当時は障害者に対する国民の理解はほとんどなかつた。その後時代も徐々に変化し、障害者への理解も深まり出した。申請して六年後に社会福祉法人の施設として認可された。かくして一番難しいとされる重度身障者五〇人定員の施設を建設、開設したのである。

絵手紙集



絵文 椋山善久

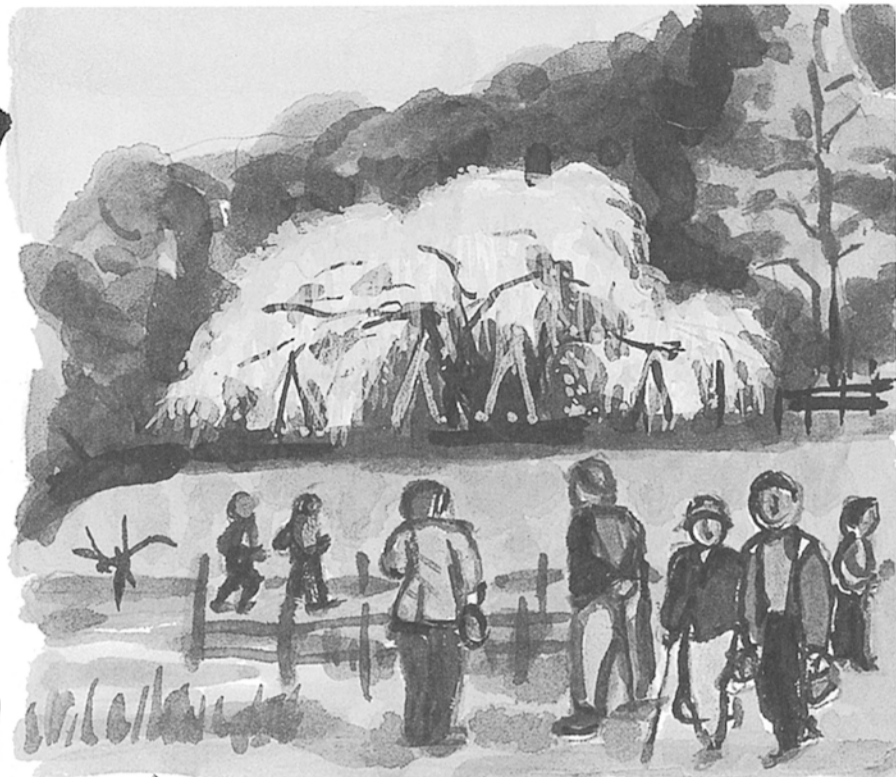
返文 小林玲子

椋山善久

昭和十一年碧南市で生まれる。丸栄陶業株式会社代表取締役。碧南商工会議所会頭。愛知県陶器瓦工業組合理事長。全国陶器瓦工業組合連合会理事長などを歴任。平成二十二年旭日小授章受賞。丸栄陶業株式会社取締役会長現在に至る。京都造形芸術大学・通信教育部芸術学部美術科・洋画コース大学院修士課程二回生。

小林玲子

碧南市に育つ。西尾市在住。共著「西尾の民話」童話「サケの子ピッチ」随筆「海辺のそよ風」(中経コラム「閑人帳」より)ミュージカル脚本「みぐりちゃんのおうち」ほか



岡崎市奥山田の枝垂れ桜

あちこちと
桜便りを
追かけて



日本には、古来大人の遊びとして花札があり、その絵柄は一月松二月梅・三月桜・四月ササとありますが、四月の初旬に入りこの地オモヤツと桜が満開となりました。早速震災被災地の方々に桜が満開の絵手紙で少しでも心が癒されなにかと思いい岡崎奥山田の枝垂れ桜を描きました。場所は岩津天神をぬけて北東の方向にあり、岡崎公園のソメイヨシノよりも早く咲き始め、浅紅白色の美しい花は豪華絢爛です。樹齢千三百年とありました。

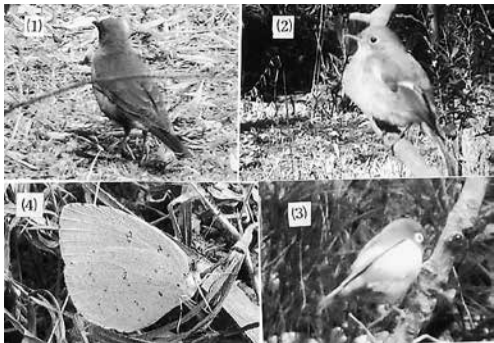
巨木を訪ねる旅がしたいと兼々思っておりますが見事な桜をお便りに拝し拍手打ちたき思いです。人間の巨樹のような岡島先生と悠久子様の後姿も活写されていい絵でございますね。流石、奥様のイメージがそっくり出ていて老先生との会話が聞こえて参ります。春が来てもなかなか桜を見に行くゆとりを持たない身が淋しいですが少しの努力で吾も人も楽しませることが出来る絵手紙。やはり椋山様の存在は貴重です。お元気で活躍下さいませ。

知多の動植物雑記(三三三)

原 穰

四月を迎え、寒さに弱いオジイ(私のこと)も、春が来たーと笑顔をとりもどす。川岸に並ぶ桜並木も、まさに「桜咲くで心浮き浮き、春らん漫である。

その春雨の意とか。そんなこともあってか、壹町田湿地も、いささか春めいてきたのかなと思われ、霧困気がチラホラ。



壹町田湿地は冬も楽しい

だから、冬の草刈り作業も、こんな草花を見

囲りを雑木で囲まれた湿地は、冬の寒い風はなかく、外より幾分暖か、春先に咲く花の芽が出ていたり、時には蕾がついていたりして、「オー元氣してるナー」と言葉をかけている。冬ならほこその斑紋に「oh!ワンダフル」である。

逃さないように、事細かに見つめながらの作業である。勿論、パツタの仲間、枯れ草の間を、ピョンピョンと跳びはねている。作業の休憩時間となれば、人影のなくなった湿地に、鳥がやって来たりする。守る会のメンバーは「oh!来た来た」と、カメラを持って、静かに湿地へ向かう。

中学生の頃から中国の思想哲学、諸子百家(孟子、孔子など)に興味を持った。読書といえば、専ら古典だった。大学四年生の時、交換留学生として台湾に

留学した。台湾の文化にふれてみると、台湾について知ってみたいとなった。帰国後も、その気持ちは変わることがなかった。台湾は浦山さんの生き方さえも変えてしまった。就職は台湾と何らかの関わりのある会社を探し、台湾駐在を希望したが、うら、日本と台湾との架け橋となることをしてみたいという思いが強くなり、あっさり、サラリーマンを三年で辞めてしまった。サラリーマン時代に台湾茶の世界を覗いてみた。台湾茶に詳しい人物とも出会うことができた。サラリーマンを辞めて台湾に渡った。人と人がつなぎ、茶農家を二年間お茶の作り方を学んだ。台湾の人は日本人に似た感性をもつ人が多かった。お茶

がどう飲まれているのかわかり、台湾の人とふれ合う中で、はじめて見えてくるものがあつた。自然によって作り上げられるものがあつた。自然によって作り上げられるものがあつた。自然によって作り上げられるものがあつた。

起業して五年目になる。今も日本と台湾を行き来する。台湾のいいものを日本に紹介したい。日本のいいものを台湾に紹介したい。いいもの、きつと、人の心が宿っていると思う。浦山さんは愛知県で生まれ育った。常滑の急須は身近に感じた。今後は、台湾茶と共に常滑の急須の魅力も伝えていきたいと話す。自分でなければ伝えられないものがあるはずだから、という。

伴侶も台湾の女性という。浦山さんは仕事もプライベートも台湾に情熱的な人だった。

お茶の作り方を学んだ。台湾の人は日本人に似た感性をもつ人が多かった。お茶がどう飲まれているのかわかり、台湾の人とふれ合う中で、はじめて見えてくるものがあつた。

島旅回廊

～ハワイアン・カルチャー①～

半田空の科学館・半田市体育館 館長 池田 昇

私がハワイに移住したのは西暦2000年のことでした。ワイキキの地元銀行で口座を開こうとした時にちょっとした事件がありました。私の名前は池田昇です。英語表記はNOBORU IKEDAとなります。銀行でも総ての書類にNOBORUと書きました。しばらく待って、窓口の女性が持ってきた書類を見てびっくり。カードから何から、すべてがNOBURO IKEDAとなっていました。"のぼる"ではなく"のぶろう"です。そこで気がつきました。こちらの人はNOBORUと言う発音が出来ないのだと。"のぶろう"は大丈夫だけれど"のぼる"はダメなのだ。

私のようにハワイで働く日本人は決して少なくありません。そして大抵の日本人が、ジョニー松田とかキース岡山、サミー田中など、まるで外国人のような名前を付けているのです。これは決して格好つけているわけではありません。誰もがファーストネーム、つまり名前で呼び合うのがアメリカです。しかしながら日本人の名前には呼びにくいものも多く、アメリカ人には発音出来ません。しかたなく日本人は自分の名前を少し変えて、アメリカ人が呼びやすい名前にするので。結果、私はNOBBY(ノビー)となりました。名刺にもNOBBY IKEDAと記載しています。今でもハワイの友達からは"ALOHA! NOBBY"とメールが届きます。

ハワイは名前の付け方がとてもユニークです。日本の場合、結婚すると大抵は男性の苗字か、女性の苗字に統一します。ハワイでは両方の苗字を付ける事が可能です。つまり山本さんと池田さんが結婚して「山本池田」というファミリーネーム(苗字)を付けることが出来るのです。

私の友人を例に取りましょう。アイルランドとアメリカのハーフであるエディは、ティルトンというファミリーネームを持つ白人男性です。彼はアメリカと日本のハーフである佐々木さんという女性と結婚しました。夫婦になった彼らは、自分たちの苗字を「佐々木ティルトン」にしたのです。やがて二人に男の子が生まれました。エディはその男の子にアメリカの名前を付けました。「クリストファー」です。奥様は彼に日本の名前を付けたいと言いました。付けた名前が「連蔵」です。さらに夫妻はハワイで生まれたのだからハワイアンネームも付けようと考えました。付けた名前が「カヴィカ」です。つまり、その男の子のフルネームは「クリストファー・連蔵・カヴィカ・佐々木ティルトン」というわけです。エディから直接この話を聞いた私が古典落語の「寿限無」を思い出したことは言うまでもありません。



私がワイキキで住んでいたコンドミニアム。30階角部屋。ハワイではこのタイプをワンベッドルームと言いますが、日本では1LDKでしょうか。リビングにベッドルーム(ツイン)。キッチンにバス、トイレがついています。テレビからソファから、収納からベッドからテーブルから冷蔵庫から電子レンジから全てが備え付け。身体だけで入居可能。(写真 上段・中段)

部屋からのビュー。正面にシェラトンワイキキ、ロイヤルハワイアンなどのホテル群。その向こうがワイキキの海。(写真 下段)

若竹俳壇 作品募集 毎月十日までに集めて発行所へ

- 吉田ひろし 浩美
加藤久子 光美
片岡光子 里美
関里美
杉江志江
塚本志江
山本志江
荒川志江
都築志江
竹内志江
服部志江
山中志江
古川志江
久田志江
岩田志江
平野志江
磯村志江
澤田志江
中尾志江
古川志江
高川志江
江端志江
清水志江
富田志江
林志江
藤井志江
中山志江
浦崎志江
中村志江

- ◎方円館
◎二宮祐子展
◎武豊町中央公民館
◎武豊町中央公民館
◎武豊町中央公民館
◎武豊町中央公民館
◎武豊町中央公民館
◎武豊町中央公民館
◎武豊町中央公民館
◎武豊町中央公民館
◎武豊町中央公民館

